

立石賞 功績賞・特別賞 候補者推薦書の記入要項

第8回立石賞の候補者推薦は、以下の記入要項を参照して推薦書を作成のうえ、2023年6月30日までに提出ください。第1回から第7回立石賞に推薦された候補者については、そのときに提出された推薦書類を用いて再推薦いただけますので、本資料3ページ【再推薦する】の項に従って提出ください。

【新規に推薦書を作成する】

推薦書は、Word ファイル”第8回立石賞推薦書.docx”を使用ください。記入にあたって、フォントサイズを変更しないでください。

1. 推薦書表紙

- (1) 功績賞か特別賞かの区別を、頭部の□を削除して☑または■を入力ください。
- (2) 功績賞推薦の場合には、「当財団から受けた過去の研究助成」欄に所要の情報を記入してください。ご不明な場合は、事務局にお問い合わせください。特別賞推薦の場合には、この欄の記入は不要です。
- (3) 推薦者の氏名欄に署名また記名・押印ください。
- (4) 事務局記入欄には何も記入しないでください。

2. 候補者履歴書

- (1) ご本人に推薦・受賞の意思があることを確認する趣旨で署名または記名・押印をお願いします。
- (2) ただし、現時点で表彰式への出席および受賞記念講演の実施の確約を求めるものではありません。それにつきましては受賞決定の直前にご本人に確認させていただく予定です。

3. 候補者の業績

- (1) 「3. 分野」欄で“その他”を選択される場合には次のことに注意してください。立石賞はエレクトロニクスおよび情報工学の分野における業績を対象とするものです。しかし、両分野は、様々な分野と融合しつつ目覚ましい発展を遂げており、その境界を明確に定めることは必ずしも容易ではありません。そのため、エレクトロニクスおよび情報工学の発展として得られた業績も対象として選考する方針としています。したがって、“その他”分野のご推薦も受け付けますが、その場合には、推薦理由において、賞の対象となる業績がエレクトロニクスまたは情報工学の発展として得られたものであるということをご説明ください。
- (2) 「4. 推薦理由」欄では、賞の対象となる業績の学術的・技術的内容に加えて、人間と機械の調和に対する貢献および社会的貢献について分かりやすく説明してください。図や写真を使っても問題ありません。学術的・技術的内容の説明では以下の観点についてご留意ください。
 - ・研究・技術開発の背景
 - ・候補者自身が実施した研究・技術開発の内容、方法、経過およびその成果
 - ・業績の独創性・創造性、従来の知見・技術や関連する他の研究者・技術者の成果との比較
 - ・今後の発展の可能性

- (3) 「5. 賞の対象となる業績を掲載した主な論文・技術報告等」欄は、審査の際に参照しやすくするため、URL を記載するかリンク設定をお願いします。行が足りない場合は、ページを増やしてください。
- (4) 「6. 照会先」欄には、候補者について照会した場合、公正に評価してくださると考えられる方3名を挙げてください。
- (5) 「7. 候補者の業績を確認できる公開情報源」欄の URL は必ずご記入ください。
- (6) 「8. 添付資料一覧」については、「5. 賞の対象となる業績を掲載した主な論文・技術報告等」以外で、業績を紹介した学術誌・技術誌などの記事や新聞の報道等があれば記事名を記載のうえ資料を添付ください。ウェブ上に公開されているものは URL を記載するかリンク設定ください。

4. 推薦書類の提出

- (1) 推薦書類は、推薦書と添付資料からなります。添付資料に該当するものがない場合は推薦書のみ提出ください。
- (2) 推薦書の 1 ページ目に推薦者の署名または記名・押印、2 ページ目に候補者の署名または記名・押印のうえスキャンした PDF、推薦書(Word)および添付資料(該当するものがある場合)を事務局宛に提出ください。
- (3) 提出は、事務局宛にメールまたはそれに準ずる手段(ファイル共有・転送サービスなど)で 2023 年 6 月 30 日までに提出ください。添付資料は、郵送でお送りいただいても構いません。
- (4) 提出書類が確認できたら、事務局から推薦者宛に受付番号をメールで連絡します。数日たってもメールが届かない場合は、事務局までお問い合わせください。
- (5) 推薦書類は、賞の対象から洩れた場合であっても、お返しできませんのでご了承ください。ただし、推薦書類を立石賞審査・選考以外の目的に使用することはありません。

【書類送付先・問合せ先】

公益財団法人 立石科学技術振興財団 事務局

〒600-8234 京都市下京区油小路通塩小路下る南不動堂町 11 番地

TEL:075-365-4771

E-mail:info@tateisi-f.org

URL:<https://www.tateisi-f.org/>

【再推薦する】

第1回から第7回立石賞に推薦された候補者については、そのときに提出された推薦書類を用いて再推薦いただけますので、以下の説明に従って書類を提出ください。再推薦であっても推薦書類を作り直す場合は、本資料1ページ【新規に推薦書を作成する】に従って提出ください。

1. 再推薦方法

- (1) 再推薦する場合の推薦書類の扱いは、以下の方法が可能です。
 - (a) 過去に提出した推薦書類を加筆修正して提出する(修正箇所を明示ください)
 - (b) 過去に提出した推薦書類をそのまま提出する
 - (c) 事務局が保管している推薦書類をもって提出されたものとみなす
- (2) 過去に提出された推薦書類が必要な場合は、事務局までお問い合わせください。

2. 再推薦書

- (1) 再推薦する場合は、過去に提出された推薦書類を用いて審査・選考することに同意する再推薦書を必ず提出ください。
- (2) 再推薦書は、Word ファイル”第8回立石賞推薦書(再推薦).docx”を使用ください。
- (3) 頭部文章に、推薦者名、候補者名、賞の区別(□を削除して☑または■を入力)、推薦した回を記入ください。
- (4) 推薦者の氏名欄に署名また記名・押印ください。
- (5) 「今回の推薦に関するコメント等」欄には、再推薦する理由や推薦理由の要約等を記載ください。
- (6) 推薦者は、過去の推薦者と異なっても構いませんが、その場合は過去の推薦者と今回の推薦者間で了承を得たことを「今回の推薦に関するコメント等」欄に記載ください。

3. 推薦書類の提出

- (1) 推薦書類は、再推薦書および過去に提出した推薦書(再推薦方法(a)(b)の場合)からなります。
- (2) 再推薦書に推薦者の署名また記名・押印のうえスキャンした PDF および推薦書(再推薦方法(a)(b)の場合)を事務局宛に提出ください。
- (3) 提出は、事務局宛にメールまたはそれに準ずる手段(ファイル共有・転送サービスなど)で2023年6月30日までに提出ください。
- (4) 提出書類が確認できたら、事務局から推薦者宛に受付番号をメールで連絡します。数日たってもメールが届かない場合は、事務局までお問い合わせください。
- (5) 推薦書類は、賞の対象から洩れた場合であっても、お返しできませんのでご了承ください。ただし、推薦書類を立石賞審査・選考以外の目的に使用することはありません。
- (6) 書類送付先、問合せ先は本資料2ページを参照ください。

以上